

澎湖島衛生一班ニ就テ

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2017-10-04 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/2297/38371

(原著及實驗)

終ニ臨ミ恩師上田教授、併ニ福岡尊兄ノ指導ヲ謝ス

澎湖島衛生一班ニ就テ

陸軍二等藥劑官 金 堂 圓

澎湖島ハ帝國ノ南門臺灣ノ鎖鑰ナリト云フ然レモ世人多ク澎湖ヲ知ラズ或ハ其地ハ珊瑚礁ヨリ成ルト信ズルモノアリ或ハ渠線瀆ラントスル樂園ト想像スルモノアリ或天産物ニ富ミタル沃土ト信スルモノアリ或ハ瘴厲ノ氣ニ充テタル不健康地ト思フモノモアリ是澎湖交通不便ナル南海ノ一隅ニ僻在スルヲ以テ世人ニ紹介セラル、機會ナキト未ダ經濟上ニ於テ世人ノ注目ヲ受クルニ足ル價值アル要素ヲ發見セラレザルトニ因ル可シト雖畢竟澎湖ニ關シタル記録ノ多ク世人ニ知ラレザルハ其一大原因ナリト是ニ於テ余ハ聊カ該島ノ一部衛生狀態ニ就キ調査シ得タル實況ノ大要ヲ記報シテ世人ノ參考ニ供セントス

一、位 置 澎湖島ハ東洋ノ咽喉日本ノ南門ニシテ清國福建艦隊根據地タル福州灣ニ對シテ一衣帶水ヲ隔ツルノミ英國東洋根據地タル香港及米國東洋唯一ノ軍港タル馬尼刺スピック灣ニ到タルニハ一日航程餘ニ過ギス佛國東洋艦隊根據地タル柴棍又遠カラズ實ニ是等諸点ニ對シ日本帝國第一關門ヲ形成シ又臺灣ノ鎖鑰ニシテ古ヨリ澎湖ヲ有スルモノ必ズ臺灣ヲ有スルハ歴史ノ証明スル所トス然ルニ該島ハ日本九州ニ起リタル霧島火山脈ハ蜿蜒シテ南西ニ至リ火山脈特有ノ弓形ヲ畫キツ、海波ノ中ニ起伏シ沖繩列島ヲ經由シ走ルコト數百里臺灣ノ西方ニ於テ海面ニ躍出シ此ニ大小數十ノ島嶼ヲ成形ス之ヲ澎湖列島ト稱ス南ハ北緯二十三度九分四十秒ヨリ北ハ北緯二十三度四十五分四十一秒ニ至リ東ハ東經百十九度四十二分五十四秒ヨリ西ハ東經百十九度十八分三秒ニ至リ臺灣海峡ノ中央ニ星羅棋布セリ

二、周圍及面積

土地	屬島數	周	圍	面	積		
澎湖列島	六十三	本島	屬島	合計	本島	屬島	合計
		町間	里町間	里町間	方里	方里	方里
		63.3	10.0	10.1	63.4	10.1	73.5
		4.1	1.0	5.1	10.0	1.0	11.0
		8.3	1.0	9.3	10.0	1.0	11.0

三、土地ノ狀況 澎湖島ノ地タルヤ四時降雨少ナク植物ノ發育ニ最モ必要ナル滋潤ヲ缺キ剩サハ冬季ハ強烈ナル北風連日絶ユルコトナク草根自然ノ成長ヲ沮害シ加フルニ土民ハ燃料トシテ草根及牛柴(即チ牛糞ヲ乾燥シタルモノ)ヲ用ユ然ルニ草根ヲ掘去スルガ爲メ滿地亦裸々其表層ヲ露出シ激甚ナル風水蝕ノ作用ヲ受ケ年々其土壤ヲ削去セラル、ヲ以テ今日ニ於テモ既ニ膏土ヲ留メズ火山岩ヨリナル地殼ヲ露ハシ最良ノ如地下雖モ僅カニ砂礫ヲ混ズル瘠土ノ薄層ヲ留ムルノミ或ハ全ク土壤ヲ留メザル所尠ナカラズ故ニ農民ハ窪地ニ滞留セル土壤或海濱ノ細砂ヲ運ビ來リ畑ニ入レ播種シ得ルニ過ギザルモノアリ故ニ此ノ狀態ヲ以テ移推セバ百年若クバ數百年ノ後ニ至ラバ耕作シ得ベキ地面無キニ至ルハ昭々乎タリ此時對岸ヨリ土壤ヲ輸入シ來リ耕作ヲ續行スルモ經濟上有利ナレバ農業繼續セラレベシト雖モ若シ然ラズンバ自然ニ廢滅ニ歸シ農民ハ他ニ轉業或ハ島外ニ移住スルノ外ナカラン現在澎湖島ノ面積ハ方里耕作地五千七百町步ヲ有シ一年ノ地租ハ僅カニ六百三十餘圓徵集シ得ルノミ併カモ農民ハ猶其負擔ノ重キヲ嘆セリ以テ土地ノ肥瘠ヲ知ル可シト云フ愚昧ナル土民等ハ年々其所有地ノ削去セラレツ、アルヲ見ルモ敢テ怪マズ又憂トセザレ共今日ニ於テハ彼等ノ爲メ救濟ノ策ヲ講ズルヲ以テ肝要ナリトス

四、氣 候 澎湖島ハ回歸線下ニ近ク横ハリ亞熱帶ノ地ナレモ冬季ハ東北ノ季節風烈強チ極メ北部支那ノ冷氣ヲ送リ來リ又此ノ季節ノ來ルニ當リテヤ概シ曇天ヲ伴ヒ太陽ノ照射ヲ受クルコト稀レナリ故ニ入チシテ綿衣ヲ纏テシメ或ハ火爐ノ傍ニ坐セント欲スルニ至ラシム夏季ハ南風徐々ニ至リ

(原著及實驗)

スルコトアリ本島ノ酷暑季節ニ入ル風ハ西南風多ク降雨多カラズ
七月 本月ハ氣溫昇リテ最高ノ極點ニ達ス平均二十七度六最高三十一度
八ニ達スルコトアリ降雨多カラズ暴風トナリ附近海上ノ航海ハ注意ヲ要ス
ルナリ

八月 本月ノ暑氣ハ前月ト大差ナク暴風ノ襲來最モ頻繁ナリ雨ハ前月ニ
同シ

九月 本月ハ僅カニ酷暑季ヲ經過スルモ尙殘暑甚ダシク風ハ本月ヨリ一
變シ季節風ノ初期ニ入ル從テ風力モ増加ス雨ハ前月ニ同シク暴風ハ前月ノ
如ク頻繁ナラザレ共猛烈ナルモノ少カラズ

十月 本月ハ冷氣漸ク加ハリ氣溫下降シ平均二十五度二最低二十二度三
ニ下降スルコトアリ風ハ北東ノ季節風トナリ風力モ大ニ増加シ附近海上波
浪漸ク高ク降雨大ニ減シ一滴ノ雨ヲモ見ザルコトアリ

十一月 本月ハ北東ノ季節風卓越シ其速度平均十一米突兒八最強三十米
突兒ニニ達シ風浪強暴ニシテ夏秋ノ暴風ニ讓ラザルコトアリ天氣陰鬱トナ
リ暴風ハ本月ヲ以テ終期トス雨ハ殆ンド見ズ

十二月 本月ハ寒氣加ハリ全ク冬季ノ狀態ニ移リ氣溫平均十六度二最低
十五度六ニ降ルコトアリ北東風ハ益々強烈トナリ天氣陰鬱降雨極メテ稀レ
ナリ

五、人口及戶數一般流行病 舊記精確トハ信シ難シト雖澎湖ノ始メテ支
那ノ版圖ニ入りシキハ人口五百四十六ニ過ギス然ルニ康熙五年(日本寛文
六年西曆千六百六十六年)ニ至リ百二十六人ヲ増シ雍正五年(日本享保十
二年西曆千七百二十七年)ニハ六百七十五人アリ亦乾隆二年(日本元文二
年西曆千七百三十七年)ニ至リ更ニ百二十八人ヲ増シ乾隆二十七年ニ至リ
テハ劇増シテ二千七百五十人ニテ成リ男女一万九百三十八人幼丁一万二
千十七人ヲ算セリト云フ同三十二年ニ至リ澎湖全島十三灣(市街)ヲ通シ
テ二千八百ニテ男女二万五千八百四十三人ニシテ内地宮市街ハ四百七十四

戸男女四千六百餘人ヲ有シ西嶼灣(市街)林投灣(市街)之レニ次ギ吉貝灣
(市街)ハ僅カニ六十四戸ニシテ最少ナリ

道光八年(日本文政十一年西曆千八百二十八)ニ至リハ八千九百七十四戸
男女大小五万九千二百二十八人ニ増加シ媽宮街ハ千三百九十七戸八千八百四
十四人ヲ有セリ明治四十年十二月三十一日ニ於テハ住戸八千七百七十八戸
所帶一万三千九百九十二、人口五万四千三百八十八人内地人ハ二千三百八十
七人ニシテ現在即チ明治四十三年十二月三十一日調査人口五万六千二百四
十七人内地人二千二百〇八人(陸海軍人ヲ除ク)外國人百〇五人トス人口一
千人以上ノ市街地ハ獨リ媽宮ノミニシテ男女大小五千〇七十六人ヲ有ス故
ニ澎湖列島ノ人口ヲ其面積ニ配當スレバ一方里ノ人口六千八百四十六人ト
ス而シテ此地ノ一般流行病及傳染病ハ殆ンド無ノ狀態ニアリ只稀レニ腸窒
其斯實布垓里脚氣麻刺利亞熱帶赤痢テンゲ熱流行性感冒等ノ一二ノ發生
ヲ見ルモ流行性ナラズシテ散在ニ之ヲ見ルノミトス

斯ノ如キ狀況ヲ持テル當島ハ自然行政上國庫ノ収支相償ハザル不生産的不
毛ノ地位ニアレト醜テハ我帝國ノ一旦事アル場合ニ於ケル外寇防禦上缺グ
ベカラザル國ノ堅門タリ鎖鑰タル最要得ノ位置ニアリ之レカ爲メ土地ノ盛
衰ト土民ノ繁滅トハ第一我カ國防上最大密接ノ關係ヲ有スルモノナリ故ニ
近來臺灣總督ヨリノ示命ニヨリ令廳及陸軍諸部隊ニ於テハ當地繁盛策ノ第
一步トシテ植樹ニ極力意ヲ注ギツ、アルモ未ダ最近一、二年間ノ事業ニテ
其効果モ顯著ナラズ而テ當地ハ水産鑛業農事改良等ハ大ニ有望ナルニ付キ
適當ノ專門家ト資本家ヲ得テ根本的の大事業ヲ計策セバ或ハ他へ比類少ナキ
有利事業ナラントハ當地有識者ノ常説ニシテ此說果シテ行ハルニ至ラバ目
下ノ當地ハ業ニ安スルノ民日一日ト増シ從テ適工官吏社界迄一般ノ人氣
ニ一新面目ヲ顯ハシ延イテハ行政上國防上兩ナガラ我が帝國ノ一大寶庫タ
ル澎湖島ヲ得ルニ至ランカ